

認知ケアのアセスメント視点

～自然観察から学ぶ、ご利用者理解で大切にすべきこと～

認知ケアで重要とされている「寄り添う」支援を実践することで、その方を理解し、思いの共感に繋がる。しかし介護実践の場面では、どのように寄り添ってあげればよいか悩んでいたりと戸惑っている介護従事者は少なくないと思われま

今回の研修会では、屋外にて自然観察のグループワークを通じて、認知ケアのアセスメントの視点を再確認し、普段見えていなかった観察の視点を獲得することや、なぜそのような言動を取るのかご利用者目線で理解しようとする能力を高めることにより、その方に「寄り添う」支援をより良いものにすることを目的としています。

また本研修会は、新型コロナウイルス感染症対策や、気持ちのリラクゼーションも兼ねて、屋外での研修会と致します。

講師紹介

- 椎名淳一氏
千葉県介護福祉社会理事 認知症指導者 自然観察指導員
- 松原弘晃氏
認知症指導者 自然観察指導員
- 佐藤悠氏
認知症指導者 自然観察指導員
- 加藤幸夫氏
千葉県介護福祉社会理事 自然観察指導員



こちらのコードからお申込み頂けます。



日時 令和6年5月14日(火) 09:30~12:30 (受付9:00~)

会場 昭和の森公園 集合場所：第2駐車場

内容 認知ケアに関する講義及び自然観察を通じての演習

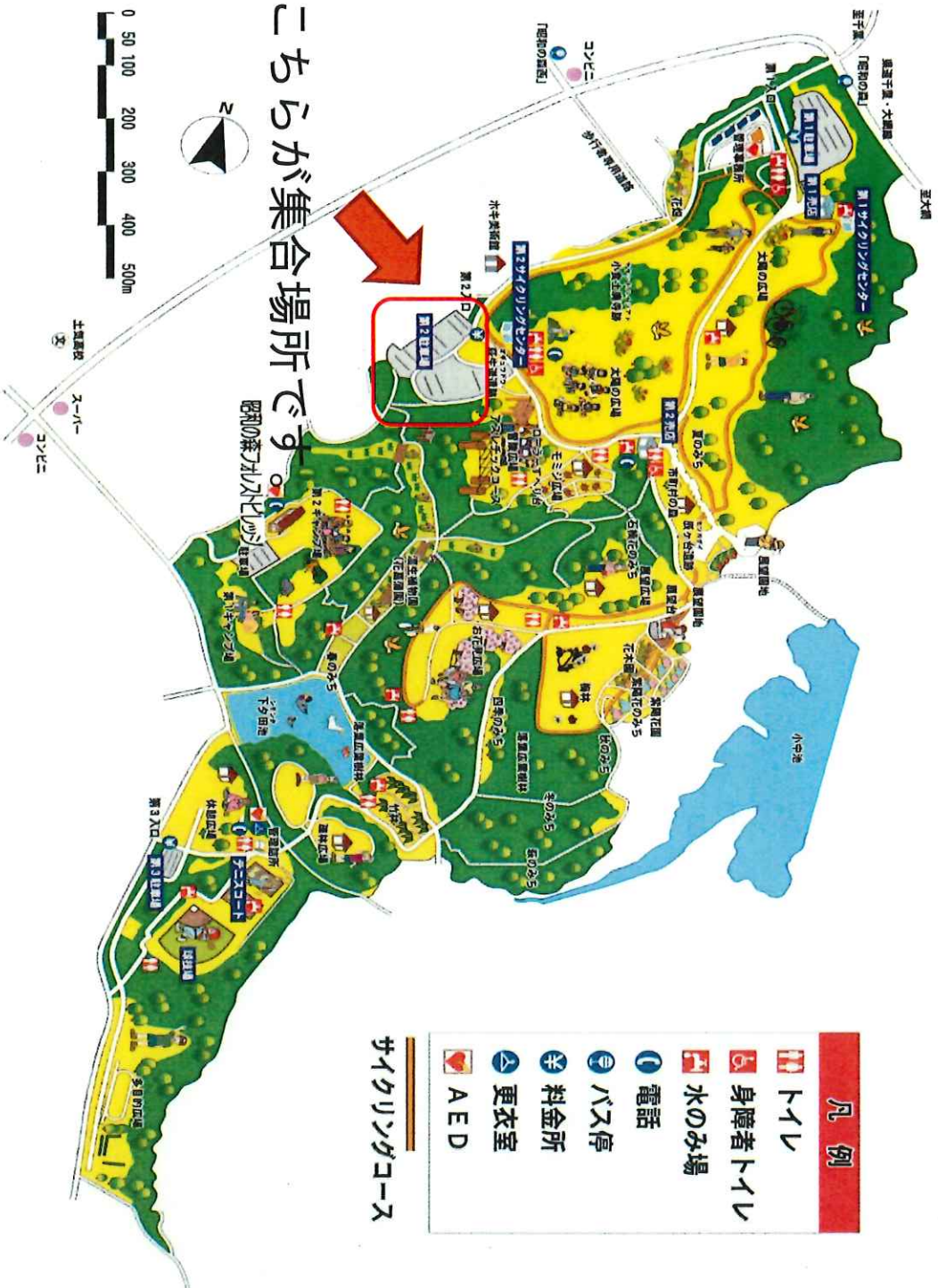
参加対象者 千葉県介護福祉社会員および一般の方

費用 介護福祉社会員 1,000円 非会員 3,000円

定員 25名

持ち物 筆記用具 飲み物 手鏡 動きやすい服装 (必要に応じて) 帽子 雨具等

申込 左下コードよりお申込み下さい。締め切り 5月7日(火)



会場 昭和の森公園 集合場所 第2駐車場
 住所 千葉県緑区土気町22
 お申込み 表面の2次元コードよりお申込み下さい。
 お問い合わせ 043-248-1451